

目次

I.	承認証	
II.	概要	i
III.	要約	ii
IV.	前書き	iii
V.	謝辞	iv
VI.	目次	v
VII.	表の一覧	vii
VIII.	第1章 序論	
	1.1 はじめに	1
	1.2 研究問題	7
	1.3 研究の範囲	7
	1.4 研究の目的	8
	1.5 研究の意義	8
	1.6 本論文の構成	8
IX.	第2章 基礎的理論	
	2.1 翻訳の定義	10
	2.2 語訳の種類	11
	2.3 言語誤用	12
	2.4 言語誤用の分類	18
	2.5 シンタクスの定義	20
	2.6 誤用分析における手段	23
X.	第3章 研究の方法	
	3.1 研究の方法	25
	3.2 研究のデータ	28

3.3 データの収集法.....	28
3.4 研究の用具.....	30
3.5 データの分析方法.....	31
XI. 第4章 データ分析及び考察	
4.1 分析結果の揭示.....	32
4.2. 誤用の類.....	33
4.2.1 助詞の誤用.....	33
A. の助詞の誤用.....	33
B. をの助詞の誤用.....	37
C. はの助詞の誤用.....	38
D. がの助詞の誤用.....	40
E. への助詞の誤用.....	42
F. での助詞の誤用.....	44
G. への助詞の誤用.....	44
4.2.2 言葉の誤用.....	45
4.2.3 文法の誤用.....	51
4.2.4 表現の誤用.....	56
4.2.5. 文章訳文失敗の誤用.....	61
XII. 第5章 結論及び今後の課題	
5.1 結論.....	64
5.2 今後の課題.....	70
XIII. 参考文献.....	73
XIV. 添付資料.....	74

表の一覧

3.1	研究の対象.....	27
3.2	通訳者の印象.....	30
5.1	誤用のカテゴリおよび頻度.....	64
5.2	助詞の誤用.....	64
5.3	言葉の誤用頻度.....	65
5.4	文法的な誤用.....	66
5.5	表現の誤用頻度.....	66
5.6	文章訳文失敗の誤用.....	67
5.7	コミュニケーション影響.....	67
5.8	誤用の原因.....	68